



発疹

次のうち、どの症状が見られますか？

- 元気がなく、ぐったりしている。
- 呼吸が荒く、苦しそう。
- 顔色・皮膚色が悪い。
- ゼーゼーして呼吸が苦しそう。

この欄に1つ以上「はい」がある

救急車を呼びましょう！

- 食べものや薬を飲んだ後に症状が出てきた。
- かゆみがある。
- 顔や唇が腫れぼったい。
- 暗い紫色の小さな点々が足のひざから下に出ている。
- 足の関節の痛みや腹痛を訴える。
- 目ヤニやせきがひどい。
- 目と唇が真っ赤だ。

左の欄に「はい」はなく、この欄に「はい」がある

休日夜間急患診療所を受診しましょう。

診療時間外の場合

この欄に「はい」がない

様子を見ながら、翌日、かかりつけ医を受診しましょう。

症状が急変した場合

救急電話相談ダイヤルに相談しましょう。

名称：とっとり子ども救急ダイヤル

電話番号：#8000 (ダイヤル回線・IP電話の場合は0857-26-8990)

相談受付時間：24時間365日



観察のポイント

- 発疹だけで慌てて、夜間・休日に小児救急医療機関を受診する必要はありません。症状が出ているうちに、スマートフォン等で写真を撮り、翌日、かかりつけ医を受診する時に見せるようにしましょう。
- 最近、薬を飲み始めたばかりであれば、一旦、その薬を止めて、処方してもらった医師に相談しましょう。発疹が出る直前に飲んだ薬がある場合は要注意です。



ホームケアのポイント

- 小さなお子さん、特に赤ちゃんは肌がデリケートなので赤いブツブツがしやすいものです。よだれやミルク、汗などで余計ひどくなるので、お風呂できれいにし、お肌の清潔を保ちましょう。



お医者さんに伝えてほしいこと

- 「いつから」、「どんな」発疹が出ているか。
- 「かゆみ」、「痛み」はあるか。
- 発疹が出る前に、いつもと違うことをしたか。
(例：薬を飲んだ、外で草木に触った など)
- 発疹以外の症状はあるか。
(例：発熱、吐く、下痢 など)
- 今まで薬や食べものでアレルギーを起こしたことがあるか。
あった場合、その原因は何だったか。